

画像輝度の調整

撮影画像の輝度を調整します。フレームレートにも影響します。
画像輝度調整ボタンを押すごとに「低輝度：25fps」→
「中輝度：15fps」→「高輝度：8fps」→「オフ：30fps」と切り替わります。
※夜間モードのみの機能。日中モードでは明るさが固定され、フレームレートは30fpsとなります。
画像を明るくするとフレームレートが低くなるため、撮影画像が粗くなる場合があります。

ズーム

ズームイン/アウトボタンを押すと0.1倍刻みにて、ズームイン(+)ボタンでズーム倍率が上がり(最大3倍)、
ズームアウト(-)ボタンで下がります。短押しで一段階ずつ。長押しで連続的に変更が可能です。

撮影ボタン

撮影ボタンを押すと、底面の静止画/動画切替スイッチで設定している撮影形式にて撮影を行います。
カメラアイコン側にスイッチがある場合は静止画モード、ビデオアイコン側にスイッチがある場合は
動画モードとなります。動画の場合は一度押すと動画撮影中表示が表れ撮影が始まり、現在の
録画時間が進みます。再度押すと動画撮影を終了します。
※撮影の前にマイクロSDカードを必ずフォーマットし、内部にデータが何もない状態にしてください。

USBポート

付属のUSBケーブルを使用し、PCに接続するとリムーバブルディスクとして認識し、SDカードを取り出す
ことなく撮影データを読み込むことができます。接続している間、液晶上に「MSDC」と表示されます。

ビデオ出力

付属の出力ケーブルを「TV OUT」に差し込み、反対側をモニターやビデオ機器に差し込むと
エクイノクスの液晶画面を出力することができます。その他機能は通常通り動作させることができます。

エクイノクスZ6R 仕様

倍率	6倍	実視界	3.9°
デジタルズーム	1.1～3.0倍	見掛け視界	23.4°
対物レンズ有効径	50mm	100m先の視界幅	約6.8m
電源	単三電池4本	動作気温	-10～45℃
画像形式 静止画 動画	JPG:640×480 AVI:640×480	寸法	62×105×208mm
		重量	765g
暗視造影	第二世代相当	三脚穴	○
造影距離	約300m	防水規格	IPX4
付属品	ケース・ストラップ・出力ケーブル・USBケーブル・ 取扱説明書・純正品検査証・保証書		

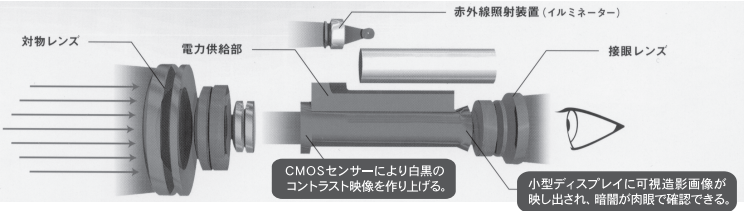
日本発売元
株式会社 **阪神栄局**
〒530-0012 大阪市北区芝田 2-5-6 ニュー共栄ビル
TEL：06-6371-8548 / FAX：06-6371-8516 / www.hanshinco.com

暗視スコープについて

日本では暗視スコープ・暗視鏡またはナイトビジョンと呼ばれ、軍事技術の発展とともに開発が進みセキュリティ
産業のニーズとともに民生化が昨今注目される光学機器です。通常の望遠鏡とは異なり、暗視増倍管
(Image Intensifier Tube) が搭載されています。存在する微量の光をスコープ内に取り込み一万倍以上
の増幅をかけ、光子を電子に変換し可視画像を蛍光スクリーン上に映し出します。

デジタルナイトビジョンについて

従来型の暗視増倍管はデリケートで明るい場所に放置すると機器寿命が著しく縮まるなど弱点があります。
そこで CMOS(Complementary MOS) センサーの技術を導入し、より高いコントラストで増倍管を使用
しないナイトビジョンの開発が進められてきました。それがデジタルナイトビジョンです。



安全に正しくお使いいただくために

以下に示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様への危害や損害を未然に防止するための
ものです。よくお読みの上、正しくお使いください。

注意と警告・その他メンテナンスについて

- ・決して太陽や強い光を見ないでください。視力の低下や失明の危険性があります。
- ・明るい光を向けられた場合は直ちに光源の方向から目を離してください。
- ・ブライバシーを侵害する行為、またはそれと見なされる行為での使用を禁じます。
- ・精密機器ですので、衝撃を与えないよう丁寧に扱ってください。
- ・分解を禁じます。分解を行った場合、一切の責任を負いかねます。
- ・製品および付属品を幼児や子供の手の届く場所に放置しないでください。事故の恐れがあります。
- ・未長くお使いいただくため高温多湿・直射日光を避け、対物レンズカバーを閉め、ケースに入れて保管ください。
- ・炎天下の車中や極端に高温になる場所に置かないでください。変形、故障の原因となります。
- ・一週間以上使用しない場合は、電池を抜いて保管してください。

※保証期間内でも次のような場合には、有料修理となります。

- ・使用上の誤りや改造または不当な修理による故障。
- ・使用時や保管時の落下、運搬時の衝撃による故障および損傷。
- ・作動可能気温の範囲外での故障。
- ・その他、お客様の過失による故障および損傷。

各部の説明



※底面のカバーをめくった状態



電池の挿入

電池蓋を反時計回りに回し開けます。単三電池 4 本を電池ボックス周囲に記してある電極が手前に来るように挿入します。次に蓋の電極を本体側の電極の印に合わせて被せます。そのまま時計回りに回し、最後までしっかり締めます。

※最大効率の稼働をするためには

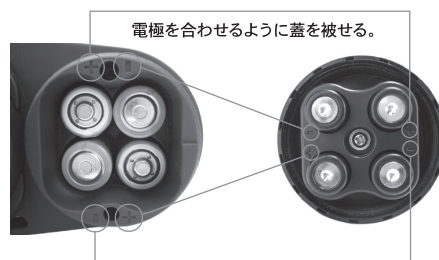
リチウム・アルカリ電池の使用を

推奨します。

※電池の種類を混ぜて使用しないでください。

※新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。

※次の使用まで期間が空く場合は電池を外して保管してください。



マイクロSDカードの挿入

電子部 (読み取り部) を三脚穴側に向けた状態で、カチッと音がなるまで差し込みます。

抜く場合はカードを再度奥へ押し込むと自動的に抜ける状態になります。

※ご使用前にSDカードをPC等でフォーマットし、他のデータが入っていない状態にしてください。

※無理に差し込むとマイクロSDカードの破損や内部読み取り部の破損につながります。

慎重に抜き差しを行ってください。

※マイクロSDカードが入っていない・カードが認識できない場合は、電源を入ると液晶上に

「No Card」と表示されます。その場合はカードの状態を確認し、再度挿し直してください。

※マイクロSDカード (別売) は32GBまで使用できます。

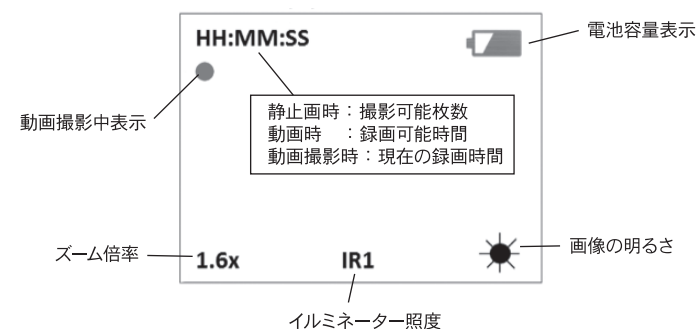
電源オン / オフ

電源ボタンを長押しすると電源が入ります。再度長押しで電源がオフになります。

10分間ボタン操作がない場合、液晶の輝度が50%に低下します。何らかのボタンを操作すると通常の

液晶画面に戻ります。ボタン操作のないまま更に1分間経過した場合、自動的に電源がオフになります。

液晶画面の説明



ピントの調整

対物レンズカバーを外し、対物レンズのピント調整リングをまわしながら任意の目標物に対しピントの調整を行ってください。目標物の輪郭と液晶表示を視度調整リングで微調整します。表示された画像が暗い場合はイルミネーターを作動させて明るくします。

イルミネーター

周囲が暗く造影が難しい場合はイルミネーターボタンで赤外線照射を起動し、光源を足します。

イルミネーターを照射した段階で日中モード (カラー造影) から夜間モード (モノクロ造影) に

切り替わります。近距離を暗視する場合は、照度を低くするとハレーションを防ぐことができます。

必要に応じてイルミネーターの照度を調整してください。

イルミネーターボタンを押すごとに「IR0：夜間モードに切り替え / 照射なし」→「IR1：低照射」→

「IR2：中照射」→「IR3：高照射」→「IR表示なし：日中モードに切り替え」と移行します。

イルミネーターを使用すると、電池の消耗は激しくなります。周囲の明るさが十分な場合はイルミネーターを

オフにすることをおすすめします。